

平成25年度 河川情報センター研究助成成果報告会

『東日本大震災』と  
一人暮らしの若者の  
災害対策・防災意識に関する調査研究

平成27（2015）年5月25日

日本大学文理学部社会学科

中森広道

# 研究の目的・意義

単身世帯の若者は、次に挙げるような特性から、防災意識が低く、災害対策への取り組みも十分ではないと考えられる。

- (1) 災害についての具体的に対策実施率が低い。
- (2) 特に育成地(実家)から離れて住んでいる若者は、居住地域の避難地や避難経路について詳しくないことが多い。
- (3) 町内会など地域の自治会へなどへの参加率が低く、日常における地域の住民とのコミュニケーションも十分ではない。
- (4) コンビニエンスストアや深夜営業の店舗の利用頻度が高く、食料や日用品の備蓄率が低い。
- (5) 非常時の安否確認が比較的困難である。

# 研究の目的・意義

以上のようなことから、特に都市部における単身世帯の若者に対する防災への啓発や具体的な災害対策の指導・推進は、都市部の防災対策における大きな課題になっているように思われる。高齢社会となった日本において、高齢者層を災害時要援護者(災害弱者)ととらえ、**高齢者層の単身世帯**については以前から防災などの安全対策が注目され、その具体的な検討も各所で行われているが、若者の単身世帯における防災対策は、**必要な検討課題でありながら重要視されておらず、これまで十分な検討が行われていない。**

このような問題意識に基づき平成18年度ならびに19年度に科学研究費補助金(基盤研究C)により、単身世帯の若者の防災意識と災害対策についての調査を実施した(研究代表者・中森広道)。しかし、「東日本大震災」を経験した中で、単身世帯の若者の防災意識や災害対策は、何らかの変化や影響が生じているかもしれない。この点を検証して、あらためて単身世帯の若者の防災意識や災害対策の現状と課題を明らかにしたいと考えた。

# 調査方法(1)

## 1) 調査票(アンケート)調査

- (1) 調査名: 若者・青年の災害に関する意識調査
- (2) 調査対象: 日本の都市部(東京23区ならびに政令指定都市〔その周辺も含む〕)に居住する18歳から35歳の男女。
- (3) 調査対象都市・地域: 次の12都市・地域を対象とした(北から順)。

- ①札幌市 ②仙台市 ③さいたま市 ④東京23区 ⑤横浜市 ⑥静岡市  
⑦名古屋市 ⑧京都市 ⑨大阪市 ⑩神戸市 ⑪広島市 ⑫福岡市

※②仙台市は宮城県塩竈市・多賀城市、③さいたま市は埼玉県川越市・鴻巣市・蕨市・戸田市・富士見市  
⑥静岡市は静岡県浜松市、⑨大阪市は大阪府堺市、⑪広島市は広島県廿日市市・呉市  
からの回答を含んでいる。

- (4) 調査時期: 平成26(2014)年11月14日～同年12月8日
- (5) 調査方法: WEB調査(モニター調査)
- (6) 有効回答数: 1196(対象モニター総数67045人よりスクーリングして配信)
- (7) 調査主体: 日本大学文理学部社会学科・中森研究室
- (8) 「若者の一人暮らし」の特性を調査するため、「一人暮らし」と「実家暮らし」の両方を対象とした。このような「居住形態」をはじめ、「性別」「年齢層」「地域」の比較ができるような回答を得られるよう配信・回収を行った。

# 調査方法 (2)

## (2) グループインタビュー

### 東京

調査日: 平成26年11月22日

会場: 東京都千代田区内の施設

参加者: 第1グループ・5人 第2グループ・6人

### 仙台

調査日: 平成26年12月7日

会場: 仙台市青葉区内の施設

参加者: 6人

# 調査票（アンケート）調査の概要

- ・回答者数:1196
- ・性別:男性 596／女性 600
- ・年齢層別:18—24歳 372／25—29歳 392／30—35歳 432
- ・地域別回答数(北から順):
  - 札幌市 100
  - 仙台市 100
  - さいたま市 100
  - 東京23区 100
  - 横浜市 100
  - 静岡市 96
  - 名古屋市 100
  - 京都市 100
  - 大阪市 100
  - 神戸市 100
  - 広島市 100
  - 福岡市 100
- ・居住形態別:一人暮らし 596／実家暮らし 600

# **（参考）平成19（2007）年の調査**

**調査時期：平成19（2007）年3月**

**調査主体：日本大学文理学部 中森研究室**

**回答者数：1066 性別：男性 532／女性 534**

**地域別回答数（北から順・東京23区ならびに当時の政令指定都市すべて）：**

**札幌市 68**

**仙台市 130**

**さいたま市 37**

**東京23区 180**

**千葉市 25**

**川崎市 19**

**横浜市 79**

**静岡市 61**

**名古屋市 63**

**京都市 107**

**大阪市 54**

**堺市 11**

**神戸市 55**

**広島市 89**

**北九州市 24**

**福岡市 64**

**居住形態別：一人暮らし 533／実家暮らし 533**

日本で、この数年の間に起こるだろう・増えていくだろう、と思うもの。

[%](M.A.) n=1196

地震災害	78.4
津波災害	37.6
火山噴火・爆発による被害	45.2
台風による災害	64.7
豪雨災害	63.0
土砂災害	53.5
竜巻による被害	31.0
落雷による人的被害	19.2
雹(ひょう)による被害	17.2
大雪による災害	33.2
なだれによる人的被害	17.2
熱中症や高温による身体への影響	41.1
隕石等の落下による被害	3.4
火災	24.2
ガス爆発	9.9
ガス漏れ・ガス中毒	9.4
自動車事故	30.5
鉄道事故	15.9
飛行機事故	9.7
船舶事故	8.5
原子力事故・放射能汚染による被害	26.3
大気汚染による身体への影響	25.2
水質汚濁(海や川の汚染)による被害	16.6
空き巣・不審者侵入	28.4
強盗・傷害	30.4
ストーカー	36.3
通り魔	33.4
詐欺	42.3
テロ	18.8
戦争	11.0
伝染病・毒性の強いウィルスによる病気	37.0
飲食物の中毒	20.0
毒物による人的被害	14.7
薬害	15.1
危険(脱法)ドラッグなどによる事故・事件	43.5
その他	0.3
何もない	10.0

50%以上  
30%以上



# 自分自身が巻き込まれると思うもの。〔%〕(M.A.) n=1196

地震災害	69.2
津波災害	17.3
火山噴火・爆発	11.6
台風による災害	35.9
豪雨災害	34.6
土砂災害	12.0
竜巻	9.3
落雷	9.7
雹(ひょう)による被害	5.8
大雪による災害	10.6
なだれによる人的被害	2.2
熱中症や高温による身体への影響	16.9
隕石等の落下による被害	1.8
火災	15.8
ガス爆発	4.5
ガス漏れ・ガス中毒	4.8
自動車事故	28.9
鉄道事故	11.1
飛行機事故	6.6
船舶事故	1.2
原子力事故・放射能汚染による被害	9.6
大気汚染による身体への影響	12.2
水質汚濁(海や川の汚染)による被害	7.0
空き巣・不審者侵入	15.2
強盗・傷害	14.4
ストーカー	9.9
通り魔	18.3
詐欺	13.5
テロ	6.9
戦争	5.4
伝染病・毒性の強いウィルスによる病気	20.3
飲食物の中毒	15.1
毒物による被害	4.4
薬害	4.7
危険(脱法)ドラッグなどによる事故・事件	7.7
その他( )	0.6
何もない	17.1

50%以上  
30%以上



# 増えていくと思うもの [%](M.A.) n=1196

地震災害	78.4
津波災害	37.6
火山噴火・爆発による被害	45.2
台風による災害	64.7
豪雨災害	63.0
土砂災害	53.5
竜巻による被害	31.0
落雷による人的被害	19.2
雹(ひょう)による被害	17.2
大雪による災害	33.2
なだれによる人的被害	17.2
熱中症や高温による身体への影響	41.1
隕石等の落下による被害	3.4
火災	24.2
ガス爆発	9.9
ガス漏れ・ガス中毒	9.4
自動車事故	30.5
鉄道事故	15.9
飛行機事故	9.7
船舶事故	8.5
原子力事故・放射能汚染による被害	26.3
大気汚染による身体への影響	25.2
水質汚濁(海や川の汚染)による被害	16.6
空き巣・不審者侵入	28.4
強盗・傷害	30.4
ストーカー	36.3
通り魔	33.4
詐欺	42.3
テロ	18.8
戦争	11.0
伝染病・毒性の強いウィルスによる病気	37.0
飲食物の中毒	20.0
毒物による人的被害	14.7
薬害	15.1
危険(脱法)ドラッグなどによる事故・事件	43.5
その他	0.3
何もない	10.0

50%以上  
30%以上



# 自分自身が 巻き込まれると思うもの [%](M.A.) n=1196

大地震	87.1
津波	10.1
火山活動	5.5
台風・豪雨	51.5
大雪	12.2
なだれ	3.7
土砂災害	8.1
竜巻	9.1
火災	48.1
ガス爆発	13.2
自動車事故	62.3
鉄道事故	30.4
飛行機事故	25.6
船舶事故	4.3
空き巣・不審者侵入	58.2
路上での強盗・傷害	46.6
詐欺	29.9
原子力事故・放射能汚染	11.0
テロ	20.4
戦争	16.1
隕石等の落下	5.2
毒性の強いウィルスによる伝染病	26.3
飲食物の中毒	39.6
ガス漏れ・ガス中毒	22.9
何もない	4.3
その他	0.8

# 増えていくと思うもの[%] 2014 (M.A.) n=1196

地震災害	78.4
津波災害	37.6
火山噴火・爆発による被害	45.2
台風による災害	64.7
豪雨災害	63.0
土砂災害	53.5
竜巻による被害	31.0
落雷による人的被害	19.2
雹(ひょう)による被害	17.2
大雪による災害	33.2
なだれによる人的被害	17.2
熱中症や高温による身体への影響	41.1
隕石等の落下による被害	3.4
火災	24.2
ガス爆発	9.9
ガス漏れ・ガス中毒	9.4
自動車事故	30.5
鉄道事故	15.9
飛行機事故	9.7
船舶事故	8.5
原子力事故・放射能汚染による被害	26.3
大気汚染による身体への影響	25.2
水質汚濁(海や川の汚染)による被害	16.6
空き巣・不審者侵入	28.4
強盗・傷害	30.4
ストーカー	36.3
通り魔	33.4
詐欺	42.3
テロ	18.8
戦争	11.0
伝染病・毒性の強いウィルスによる病気	37.0
飲食物の中毒	20.0
毒物による人的被害	14.7
薬害	15.1
危険(脱法)ドラッグなどによる事故・事件	43.5
その他	0.3
何もない	10.0

50%以上  
30%以上



# 自分自身が巻き込まれると思うもの[%] 2007 n=1066

大地震	87.1
津波	10.1
火山活動	5.5
台風・豪雨	51.5
大雪	12.2
なだれ	3.7
土砂災害	8.1
竜巻	9.1
火災	48.1
ガス爆発	13.2
自動車事故	62.3
鉄道事故	30.4
飛行機事故	25.6
船舶事故	4.3
空き巣・不審者侵入	58.2
路上での強盗・傷害	46.6
詐欺	29.9
原子力事故・放射能汚染	11.0
テロ	20.4
戦争	16.1
隕石等の落下	5.2
毒性の強いウィルスによる伝染病	26.3
飲食物の中毒	39.6
ガス漏れ・ガス中毒	22.9
何もない	4.3
その他	0.8

自分自身が巻き込まれると思うもの  
2014 [%](M.A.) n=1196

地震災害	69.2
津波災害	17.3
火山噴火・爆発	11.6
台風による災害	35.9
豪雨災害	34.6
土砂災害	12.0
竜巻	9.3
落雷	9.7
雹(ひょう)による被害	5.8
大雪による災害	10.6
なだれによる人的被害	2.2
熱中症や高温による身体への影響	16.9
隕石等の落下による被害	1.8
火災	15.8
ガス爆発	4.5
ガス漏れ・ガス中毒	4.8
自動車事故	28.9
鉄道事故	11.1
飛行機事故	6.6
船舶事故	1.2
原子力事故・放射能汚染による被害	9.6
大気汚染による身体への影響	12.2
水質汚濁(海や川の汚染)による被害	7.0
空き巣・不審者侵入	15.2
強盗・傷害	14.4
ストーカー	9.9
通り魔	18.3
詐欺	13.5
テロ	6.9
戦争	5.4
伝染病・毒性の強いウィルスによる病気	20.3
飲食物の中毒	15.1
毒物による被害	4.4
薬害	4.7
危険(脱法)ドラッグなどによる事故・事件	7.7
その他( )	0.6
何もない	17.1

50%以上

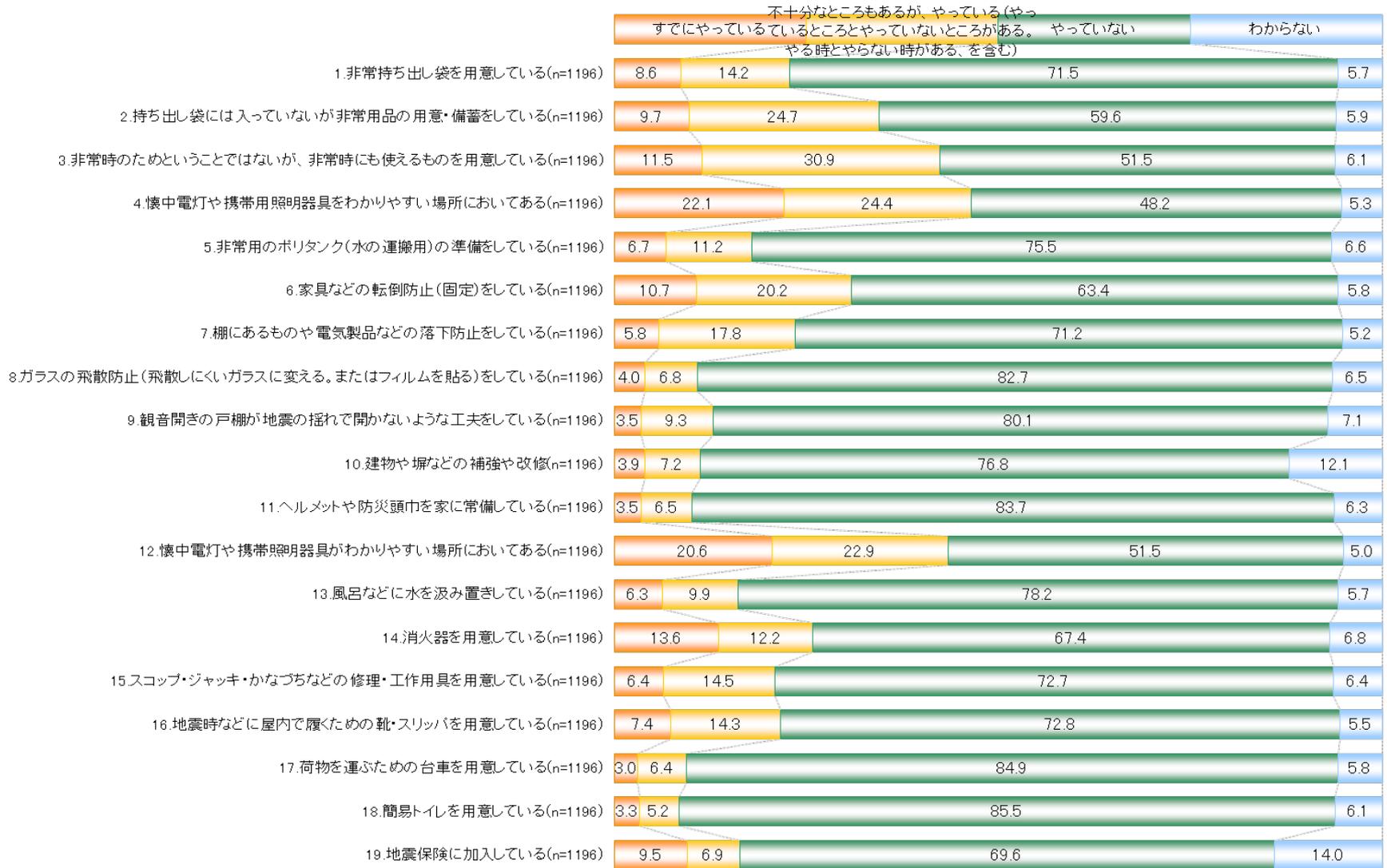
30%以上



自分自身が巻き込まれると思うもの[%]  
2007 n=1066

大地震	87.1
津波	10.1
火山活動	5.5
台風・豪雨	51.5
大雪	12.2
なだれ	3.7
土砂災害	8.1
竜巻	9.1
火災	48.1
ガス爆発	13.2
自動車事故	62.3
鉄道事故	30.4
飛行機事故	25.6
船舶事故	4.3
空き巣・不審者侵入	58.2
路上での強盗・傷害	46.6
詐欺	29.9
原子力事故・放射能汚染	11.0
テロ	20.4
戦争	16.1
隕石等の落下	5.2
毒性の強いウィルスによる伝染病	26.3
飲食物の中毒	39.6
ガス漏れ・ガス中毒	22.9
何もない	4.3
その他	0.8

# 災害対策の状況 [%] n=1196



# 災害対策の状況 [%] n=1196

	すでにやっている	ろ(不十分なところもあるが、やっているところとやらない時がある、やる時とやらない時がある、こ ろがある。やる時とやらない時がある、こ を含む)	やっていない	わからない
1.非常持ち出し袋を用意している	8.6	14.2	71.5	5.7
2.持ち出し袋には入っていないが非常用品の用意・備蓄をしている	9.7	24.7	59.6	5.9
3.非常時のためということではないが、非常時にも使えるものを用意している	11.5	30.9	51.5	6.1
4.懐中電灯や携帯用照明器具をわかりやすい場所においてある	22.1	24.4	48.2	5.3
5.非常用のポリタンク(水の運搬用)の準備をしている	6.7	11.2	75.5	6.6
6.家具などの転倒防止(固定)をしている	10.7	20.2	63.4	5.8
7.棚にあるものや電気製品などの落下防止をしている	5.8	17.8	71.2	5.2
8.ガラスの飛散防止(飛散しにくいガラスに変える。またはフィルムを貼る)をしている	4.0	6.8	82.7	6.5
9.観音開きの戸棚が地震の揺れで開かないような工夫をしている	3.5	9.3	80.1	7.1
10.建物や塀などの補強や改修	3.9	7.2	76.8	12.1
11.ヘルメットや防災頭巾を家に常備している	3.5	6.5	83.7	6.3
12.懐中電灯や携帯照明器具がわかりやすい場所においてある	20.6	22.9	51.5	5.0
13.風呂などに水を汲み置きしている	6.3	9.9	78.2	5.7
14.消火器を用意している	13.6	12.2	67.4	6.8
15.スコップ・ジャッキ・かなづちなどの修理・工作用具を用意している	6.4	14.5	72.7	6.4
16.地震時などに屋内で履くための靴・スリッパを用意している	7.4	14.3	72.8	5.5
17.荷物を運ぶための台車を用意している	3.0	6.4	84.9	5.8
18.簡易トイレを用意している	3.3	5.2	85.5	6.1
19.地震保険に加入している	9.5	6.9	69.6	14.0
20.災害時に家族が落ち合う場所、家族との連絡方法などを決めている	8.1	14.3	71.1	6.5
21.その他	1.3	5.0	68.1	25.5

# 非常持ち出し袋(上段は回答数 下段は%)

左:2014(n=1196) 右:2007(n=1066)

		n	すでにやっている	不十分なところもあるが、やっているところがある(含む)	やっていない	わからない
全体		1196	103	170	855	68
		100.0	8.6	14.2	71.5	5.7
性別	男性	596	51	77	430	38
		100.0	8.6	12.9	72.1	6.4
	女性	600	52	93	425	30
		100.0	8.7	15.5	70.8	5.0
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	596	42	59	477	18
		100.0	7.0	9.9	80.0	3.0
	実家暮らし	600	61	111	378	50
		100.0	10.2	18.5	63.0	8.3

		n	すでにやっている	やっているが不十分	やっていない
全体		1066	84	162	820
		100	7.9	15.2	76.9
男性		532	41	75	416
		100	7.7	14.1	78.2
女性		534	43	87	404
		100	8.1	16.3	75.7
一人暮らし		533	23	51	459
		100	4.3	9.6	86.1
家族と同居		533	61	111	361
		100	11.4	20.8	67.7

# 非常用品の用意(袋ではない)

(上段は回答数 下段は%)

左:2014(n=1196) 右:2007(n=1066)

		n	すでにやっている	不十分なところもあるが、やっているところとやらない時がある、を含む)	やっていない	わからない
全体		1196	116	296	713	71
		100.0	9.7	24.7	59.6	5.9
性別	男性	596	64	138	359	35
		100.0	10.7	23.2	60.2	5.9
女性	女性	600	52	158	354	36
		100.0	8.7	26.3	59.0	6.0
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	596	45	122	411	18
		100.0	7.6	20.5	69.0	3.0
	実家暮らし	600	71	174	302	53
	100.0	11.8	29.0	50.3	8.8	

	全体	すでにやっている	やっているが不十分	やっていない
全体	1066	94	257	715
	100	8.8	24.1	67.1
男性	532	45	111	376
	100	8.5	20.9	70.7
女性	534	49	146	339
	100	9.2	27.3	63.5
一人暮らし	533	28	91	414
	100	5.3	17.1	77.7
家族と同居	533	66	166	301
	100	12.4	31.1	56.5

# 家具の転倒防止(上段は回答数 下段は%)

左:2014(n=1196) 右:2007(n=1066)

		n	すでにやっている	不十分なところもあるが、やっているところとやらない時がある、を含まず	やっていない	わからない
全体		1196	10.7	20.2	63.4	5.8
性別	男性	596	11.2	19.0	63.1	6.7
	女性	600	10.2	21.3	63.7	4.8
一人暮らし/実家暮らし	一人暮らし	596	4.7	14.6	76.8	3.9
	実家暮らし	600	16.7	25.7	50.0	7.7

	全体	すでにやっている	やっているが不十分	やっていない
全体	1066	110	256	700
	100	10.3	24	65.7
男性	532	61	117	354
	100	11.5	22	66.5
女性	534	49	139	346
	100	9.2	26	64.8
一人暮らし	533	31	91	411
	100	5.8	17.1	77.1
家族と同居	533	79	165	289
	100	14.8	31	54.2

# ガラスの飛散防止

(上段は回答数 下段は%)

左:2014(n=1196) 右:2007(n=1066)

		n	すでにやっている	む がある。やる時とやらない時がある、を含む	不十分なところもあるが、やっているところ	やっていない	わからない
全体		1196	4.0	6.8	82.7	6.5	
性別	男性	596	4.2	7.0	81.7	7.0	
	女性	600	3.8	6.5	83.7	6.0	
一人暮らし/実家	一人暮らし	596	2.7	5.4	87.8	4.2	
	実家暮らし	600	5.3	8.2	77.7	8.8	

	全 体	すでにやっている	やっているが不十分	やっていない
全体	1066	59	79	928
	100	5.5	7.4	87.1
男性	532	29	39	464
	100	5.5	7.3	87.2
女性	534	30	40	464
	100	5.6	7.5	86.9
一人暮らし	533	25	24	484
	100	4.7	4.5	90.8
家族と同居	533	34	55	444
	100	6.4	10.3	83.3

# 風呂の水の汲み置き

(上段は回答数 下段は%)

左:2014(n=1196) 右:2007(n=1066)

		n	すでにやっている	不十分なところもあるが、やっているところとやらない時がある、を含まず	やっていない	わからない
全体		1196	6.3	9.9	78.2	5.7
性別	男性	596	6.0	10.1	77.9	6.0
	女性	600	6.5	9.7	78.5	5.3
一人暮らし/実家	一人暮らし	596	2.0	5.0	89.6	3.4
	実家暮らし	600	10.5	14.7	66.8	8.0

		全体	すでにやっている	やっているが不十分	やっていない
全体		1066	116	127	823
		100	10.9	11.9	77.2
男性		532	55	60	417
		100	10.3	11.3	78.4
女性		534	61	67	406
		100	11.4	12.5	76
一人暮らし		533	31	32	470
		100	5.8	6	88.2
家族と同居		533	85	95	353
		100	15.9	17.8	66.2

# 避難経路 避難場所の認識

2007（上段：回答数 下段：％）

	全 体	る経行 路った ・たこ 道順も もわあ かるし っし て、	ら経行 ない・た 道順は 覚えよ てくる いくな わが いか、	い経行 る路った ・たこ 道順は はわな かいか っが て、	ら経行 ない・た 道順も もよな くない わし か、	そ の 他
全体	745	422	34	177	109	3
	100	56.6	4.6	23.8	14.6	0.4
男性	364	207	16	87	53	1
	100	56.9	4.4	23.9	14.6	0.3
女性	381	215	18	90	56	2
	100	56.4	4.7	23.6	14.7	0.5
一人暮らし	338	147	13	99	78	1
	100	43.5	3.8	29.3	23.1	0.3
家族と同居	407	275	21	78	31	2
	100	67.6	5.2	19.2	7.6	0.5

# 避難経路 避難場所の認識

2014（上段：回答数 下段：％）

		n	行ったことあるし、経路もわかっている	かかって行ったことはよく覚えている	行ったことはわからない	行ったことはわからない	知っているが、経路・道順もよくわからない	なんとなく聞いたことはあるが、正確にはわからない	まったくわからない	その他
全体		1196	23.1	3.8	13.8	6.9	24.1	28.2	0.1	
性別	男性	596	23.7	4.0	12.6	6.4	21.3	32.0	0.0	
	女性	600	22.5	3.7	15.0	7.5	26.8	24.3	0.2	
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	596	14.1	2.7	12.6	8.6	26.0	36.1	0.0	
	実家暮らし	600	32.0	5.0	15.0	5.3	22.2	20.3	0.2	

# 災害発生・避難生活

Q.大きな地震により、あなたの家が住めない状態になった中で、もし、自分の住んでいる地域から離れた場所(自動車で片道1時間以上かかる距離)の**宿泊施設が被災者のために開放**(無料で利用できる)された場合、あなたは**その施設を利用しますか**。

利用する期間は1週間程度として、1つ選んでください。 2007

	全 体	1 人 で も 利 用 す る	用 家 族 と 一 緒 で あ れ ば 利 用 す る	で 近 所 の 人 や 友 人 と 一 緒 あ れ ば 利 用 す る	利 用 し な い	わ か ら な い	そ の 他
全 体	1066	275	408	72	89	215	7
	100	25.8	38.3	6.8	8.3	20.2	0.7
男性	532	170	185	31	48	96	2
	100	32	34.8	5.8	9	18	0.4
女性	534	105	223	41	41	119	5
	100	19.7	41.8	7.7	7.7	22.3	0.9
一人暮らし	533	200	79	60	60	131	3
	100	37.5	14.8	11.3	11.3	24.6	0.6
家族と同居	533	75	329	12	29	84	4
	100	14.1	61.7	2.3	5.4	15.8	0.8

Q.大きな地震により、あなたの家が住めない状態になった中で、もし、自分の住んでいる地域から離れた場所(自動車で片道1時間以上かかる距離)の**宿泊施設が被災者のために開放(無料で利用できる)**された場合、あなたは**その施設を利用しますか**。利用する期間は1週間程度として、1つ選んでください。 2014(%)

		n	1 人 で も 利 用 す る	家 族 と 一 緒 で あ れ ば 利 用 す る	近 所 の 人 や 友 人 と 一 緒 で あ れ ば 利 用 す る	利 用 し な い	わ か ら な い	そ の 他 ( — )
全体		1196	30.1	28.4	5.9	7.8	27.2	0.7
性別	男性	596	33.6	21.3	5.4	7.7	31.5	0.5
	女性	600	26.7	35.5	6.3	7.8	22.8	0.8
年代	18-24歳	372	29.6	32.5	9.9	6.2	21.8	0.0
	25-29歳	392	31.4	26.8	4.3	8.2	28.3	1.0
	30-35歳	432	29.4	26.4	3.7	8.8	30.8	0.9
地域	札幌市	100	23.0	29.0	5.0	11.0	30.0	2.0
	仙台市	100	24.0	28.0	8.0	14.0	25.0	1.0
	さいたま市	100	29.0	25.0	6.0	9.0	30.0	1.0
	東京都23区	100	29.0	21.0	3.0	11.0	36.0	0.0
	横浜市	100	31.0	21.0	7.0	9.0	31.0	1.0
	静岡市	96	31.3	29.2	12.5	8.3	17.7	1.0
	名古屋市	100	34.0	32.0	3.0	7.0	23.0	1.0
	京都市	100	31.0	34.0	6.0	3.0	26.0	0.0
	大阪市	100	32.0	30.0	5.0	3.0	30.0	0.0
	神戸市	100	35.0	26.0	5.0	8.0	26.0	0.0
	広島市	100	30.0	33.0	7.0	6.0	24.0	0.0
福岡市	100	32.0	33.0	3.0	4.0	27.0	1.0	
一人暮らし/実家暮らし	一人暮らし	596	39.4	14.1	8.1	8.1	29.0	1.3
	実家暮らし	600	20.8	42.7	3.7	7.5	25.3	0.0

# 施設を利用しない理由（M.A.） [%]

上段:2014 下段:2007

		n	支障がでるから行くのに	様子がわかんなくなる家の	自分の住んでいく地域	自分の住んでいく地域	泥棒や空き巣が心配だ	離れたところから家が起	自分の住んでいく地域	ためうにかをす地域の	その他	理由はわかんないから、
全体		93	35.5	17.2	17.2	20.4	23.7	7.5	17.2	20.4		
性別	男性	46	39.1	21.7	13.0	21.7	21.7	8.7	19.6	15.2		
	女性	47	31.9	12.8	21.3	19.1	25.5	6.4	14.9	25.5		
一人暮らし /実家暮	一人暮らし	48	45.8	14.6	16.7	16.7	18.8	4.2	14.6	18.8		
	実家暮らし	45	24.4	20.0	17.8	24.4	28.9	11.1	20.0	22.2		

		全 体	支障がでるから行くのに	様子がわかんなくなる家の	自分の住んでいく地域	自分の住んでいく地域	泥棒や空き巣が心配だ	離れたところから家が起	自分の住んでいく地域	ためうにかをす地域の	その他	理由はわかんないから、
全体		100	37.1	29.2	28.1	19.1	31.5	11.2	18.0	19.1		
男性		100	41.7	25.0	29.2	14.6	33.3	16.7	16.7	16.7		
女性		100	31.7	34.1	26.8	24.4	29.3	4.9	19.5	22.0		
一人暮らし		100	43.3	20.0	21.7	13.3	28.3	5.0	16.7	21.7		
家族と同居		100	24.1	48.3	41.4	31.0	37.9	24.1	20.7	13.8		

大きな地震に襲われた場合に、住んでいる地域で起こると思われること。  
 (M.A.) 10ポイント以上差があるもの。

2014(%) n=1196

2007(%) n=1066

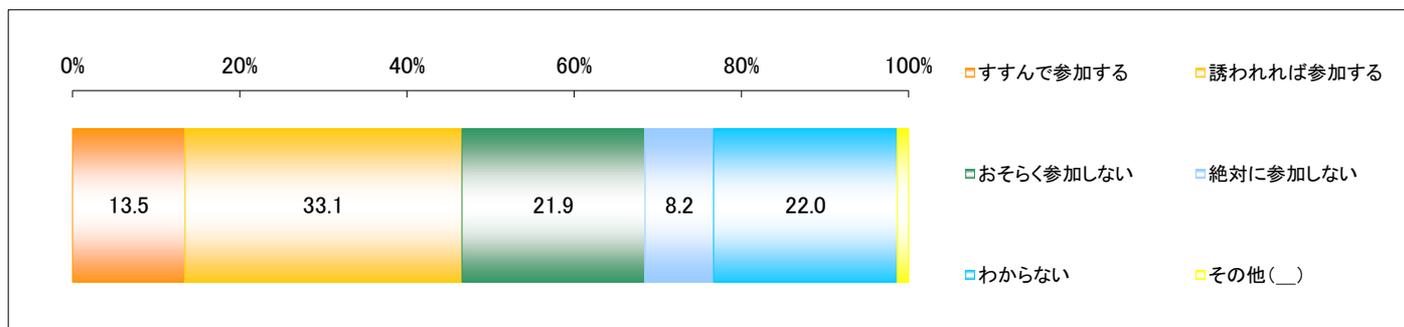
パニックが起きる	48.2
流言やデマにより大混乱が起こる	16.4
大規模な火災や爆発が起こる	17.8
窃盗・強盗・放火などの犯罪が起こる	21.6
あちこちでケンカや口論が始まる	11.6
行政や自治体がまったく機能しなくなる	18.2
人々が商店やスーパーマーケットに殺到する	43.1
避難する場所が人であふれる	42.4
しばらくは食料や水が届かなくなる	39.6
病院がいっぱいになり、治療が受けられない人が多くなる	26.1
伝染病がはやる	6.7
衛生面での問題が起こる	25.3
情報がほとんど入らなくなる	17.2
孤立する	9.1
まったく救援が来ない	5.6
その他	0.6
特に生命・財産がおびやかされるような事態は起こらない	9.9

パニックが起きる	68.6
流言やデマにより大混乱が起こる	25.1
大規模な火災や爆発が起こる	44.8
窃盗・強盗・放火などの犯罪が起こる	49.8
あちこちでケンカや口論が始まる	26.7
行政や自治体がまったく機能しなくなる	35.8
人々が商店やスーパーマーケットに殺到する	52.7
避難する場所が人であふれる	70.3
しばらくは食料や水が届かなくなる	69.0
病院がいっぱいになり、治療が受けられない人が多くなる	54.8
命に関わるような伝染病がはやる	10.4
情報がほとんど入らなくなる	36.1
その他	0.5
特に生命・財産がおびやかされるような事態は起こらない	4.3

## ボランティアへの参加 (%)

Q.あなたの住んでいる地域で大きな災害が起こり、あなたやあなたの家族が無事な場合は、あなたは、地域のボランティアに参加しますか(ここで言うボランティアは、あなたが対応できる作業・内容の場合です)。次の中から1つお選びください。

すすんで参加する	13.5
誘われれば参加する	33.1
おそらく参加しない	21.9
絶対に参加しない	8.2
わからない	22.0
その他( )	1.3



# ボランティアに参加する上で必要なこと (M.A.) [%]

家庭での教育	25.3
学校での教育	28.7
社会における教育・啓発	38.2
報道	17.5
日常の研修・訓練	25.1
国や自治体による制度・仕組みの整備	29.3
参加する窓口・手続きのわかりやすさ	39.0
一部の仲間や特定の考え方の人でかたまりたり、疎外感を覚えるような雰囲気	18.9
学校や職場において、ある程度、強制的に参加を促すこと	7.0
ボランティア活動中の安全の保障	27.8
ボランティア活動における事故などへの補償	20.7
ボランティア活動中の宿泊する場の確保	25.9
ボランティア活動を、職場が公務・有給休暇として認めることや学校が公欠として認めること	26.6
日常の生活や経済的な面での安定	23.0
その他( )	1.5
わからない	15.7

**備蓄**

# 食料等の買い置き（％）

	2014	2007
5日分以上の買い置きをしている	11.8	14.1
3・4日分程度の買い置きをしている	26.6	24
2日分程度の買い置きをしている	20.3	29.6
1日分程度の買い置きをしている	10.3	9.8
ほとんど買い置きをしていない	31.0	22.4

# 買い置きをしない理由（M.A.）〔%〕

上段：2014 下段：2007

		あるので、買い置きの必要がないから	コンビニエンス・ストアや遅くまで営業しているスーパーマーケットなど	あまり家で食事を作らないので、必要以上の食料品は買わないから	買い置きしたものを保存する空間がないから	冷蔵庫がないから	金銭的余裕がないから	ほとんどもを通信販売や宅配で購入してないので、自分から買いに行くことはないから	買い置きのことなど考えたこともなかった	何とかなると思うから	その他	なんとなく	わからない
全体		25.5	15.4	17.6	1.2	21.1	1.2	16.2	7.7	1.6	10.1	13.8	
性別	男性	20.6	14.8	13.4	1.1	20.6	1.4	15.5	8.3	1.8	11.6	15.9	
	女性	31.8	16.1	23.0	1.4	21.7	0.9	17.1	6.9	1.4	8.3	11.1	
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	28.7	25.0	21.3	1.6	20.1	0.4	13.1	8.2	0.8	7.8	11.5	
	実家暮らし	22.4	6.0	14.0	0.8	22.0	2.0	19.2	7.2	2.4	12.4	16.0	
全体		33.1	27.9	25.3	1.5	18.9	1.2	16.9	10.5	2.9	16.6	7.3	
男性		34.3	26.4	19.9	0.5	16.9	1	16.9	10	0.5	16.9	8.5	
女性		31.5	30.1	32.9	2.8	21.7	1.4	16.8	11.2	6.3	16.1	5.6	
一人暮らし		38.2	41.2	25.1	2	22.1	1.5	13.6	8	3	12.6	5	
家族と同居		26.2	9.7	25.5	0.7	14.5	0.7	21.4	13.8	2.8	22.1	10.3	

# 地域（避難所）での備蓄（％）

上段：2014 下段：2007

行政・自治体の費用で（税金などによって）備蓄を進めることがよいと思う	37.1
地域の住民が出し合う（それぞれが負担する）形で備蓄を進めることがよいと	8.6
行政・自治体の費用か、それとも住民が出し合うことのどちらがよいのかはわからないが、備蓄をすすめることには賛成である	32.8
反対である	3.2
わからない	17.5
その他	0.8

賛成	68.6
反対	7.3
わからない	23.1
その他	1.0

行政や自治体が（税金などで）行う	84.5
その地域の住民が出し合う（それぞれが負担する）	13.3
その他	2.2

# 災害情報の評価

# 本当に雨が降ると思われる 天気予報の降水確率(%)

	2007	2014
10%	0.9	1.0
20%	2.3	1.4
30%	13.2	10.5
40%	20.6	21.2
50%	21.7	23.3
60%	17.4	16.2
70%	10.4	11.5
80%	7.3	6.0
90%	0.7	0.7
100%	1.0	0.9
まったく信用しない	1.3	2.2
わからない	2.6	4.8
その他	0.6	0.3

# 何らかの対応をとる震度（％）

	2007	2014
震度1	0.2	0.0
震度2	0.3	0.4
震度3	6.8	3.1
震度4	27.2	16.2
震度5弱	34.6	33.7
震度5強	17.8	20.2
震度6弱	6.2	13.7
震度6強	3.7	6.3
震度7	1.1	2.4
わからない	2.1	4.0

		n	震度 1	震度 2	震度 3	震度 4	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7	わ か ら な い
全体		1196	0.0	0.4	3.1	16.2	33.7	20.2	13.7	6.3	2.4	4.0
性別	男性	596	0.0	0.3	2.3	13.1	29.2	20.1	18.0	9.7	3.2	4.0
	女性	600	0.0	0.5	3.8	19.3	38.2	20.2	9.5	2.8	1.7	4.0
年代	18-24歳	372	0.0	0.3	4.6	16.9	35.8	17.7	13.7	6.5	1.6	3.0
	25-29歳	392	0.0	0.3	2.8	15.1	32.4	21.7	13.8	5.9	2.6	5.6
	30-35歳	432	0.0	0.7	2.1	16.7	33.1	20.8	13.7	6.5	3.0	3.5
地域	札幌市	100	0.0	0.0	2.0	15.0	42.0	17.0	14.0	4.0	1.0	5.0
	仙台市	100	0.0	0.0	1.0	4.0	26.0	25.0	23.0	15.0	1.0	5.0
	さいたま市	100	0.0	0.0	0.0	12.0	41.0	22.0	13.0	6.0	1.0	5.0
	東京都23区	100	0.0	0.0	2.0	4.0	38.0	33.0	13.0	5.0	2.0	3.0
	横浜市	100	0.0	1.0	0.0	10.0	35.0	28.0	13.0	6.0	5.0	2.0
	静岡市	96	0.0	2.1	1.0	17.7	33.3	16.7	14.6	8.3	3.1	3.1
	名古屋市	100	0.0	0.0	3.0	25.0	34.0	13.0	15.0	4.0	2.0	4.0
	京都市	100	0.0	0.0	4.0	20.0	32.0	15.0	13.0	5.0	7.0	4.0
	大阪市	100	0.0	0.0	3.0	19.0	27.0	26.0	16.0	5.0	1.0	3.0
	神戸市	100	0.0	2.0	7.0	16.0	33.0	19.0	9.0	6.0	3.0	5.0
	広島市	100	0.0	0.0	6.0	27.0	32.0	15.0	8.0	5.0	1.0	6.0
福岡市	100	0.0	0.0	8.0	25.0	31.0	12.0	13.0	6.0	2.0	3.0	
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	596	0.0	0.3	3.0	17.3	34.1	20.0	12.6	5.9	2.3	4.5
	実家暮らし	600	0.0	0.5	3.2	15.2	33.3	20.3	14.8	6.7	2.5	3.5

# 緊急地震速報の認知度（％）

左：2007（速報の認知度） 右：2014（警報の認知度）

	全く知らなかった	詳しくはわからなかったが、なんとなく聞いた	知っていた
全体	32.2	43.3	24.5
男性	29.9	41.2	28.9
女性	34.5	45.5	20
一人暮らし	31.9	43.5	24.6
家族と同居	32.5	43.2	24.4

		n	よく知っていた	ある程度は知っていた	「緊急地震速報」は知っているが、このようだった	「緊急地震速報」という情報を知らなかった	その他
全体		1196	8.2	31.6	57.0	3.1	0.1
性別	男性	596	9.1	33.7	53.2	3.9	0.2
	女性	600	7.3	29.5	60.8	2.3	0.0
年代	18-24歳	372	9.9	31.5	55.1	3.5	0.0
	25-29歳	392	7.4	31.9	57.4	3.3	0.0
	30-35歳	432	7.4	31.5	58.3	2.5	0.2
地域	札幌市	100	11.0	36.0	48.0	5.0	0.0
	仙台市	100	12.0	34.0	53.0	1.0	0.0
	さいたま市	100	6.0	34.0	58.0	2.0	0.0
	東京都23区	100	6.0	28.0	64.0	2.0	0.0
	横浜市	100	7.0	27.0	61.0	5.0	0.0
	静岡市	96	12.5	37.5	46.9	3.1	0.0
	名古屋市	100	7.0	36.0	55.0	2.0	0.0
	京都市	100	10.0	23.0	65.0	2.0	0.0
	大阪市	100	8.0	29.0	59.0	3.0	1.0
	神戸市	100	1.0	39.0	57.0	3.0	0.0
	広島市	100	7.0	26.0	62.0	5.0	0.0
福岡市	100	11.0	30.0	55.0	4.0	0.0	
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	596	7.7	31.4	57.4	3.5	0.0
	実家暮らし	600	8.7	31.8	56.7	2.7	0.2

# 「避難勧告」「避難指示」の違い（％）

	2007	2014
知っていた	40.7	37.0
「避難勧告」の方が「避難指示」よりもレベルが上だと思っていた	11.8	9.3
「避難勧告」も「避難指示」も同じようなものだと思っていた	17.9	28.6
「避難勧告」は知っていたが、「避難指示」は知らなかった	13.5	7.5
「避難指示」は知っていたが、「避難勧告」は知らなかった	0.4	3.0
「避難指示」「避難勧告」のどちらも知らなかった	15.5	14.4
その他	0.2	0.2

	よく知っていて、説明もできる	ある程度は知っていて、少しでもあれば説明もできる	名前は聞いたことがあるが、意味や内容はわからなかった	名前も聞いたことがなかった	2007年 知らなかった
<b>1.記録的短時間大雨情報</b> (大雨警報が発表されている中で、数年に1回程度しか起こらないような雨が観測・解析された場合に気象庁から発表される情報)	7.1	36.8	33.7	22.4	36.6
<b>2.土砂災害警戒情報</b> (大雨による土砂災害発生の危険度が高まった際、都道府県と気象庁が共同で発表する情報)	6.1	44.0	39.2	10.7	22.8
<b>3.氾濫(はんらん)注意・警戒・危険・発生情報</b> (国土交通省・都道府県と気象庁が共同で、指定された河川について発表する洪水予報。氾濫注意情報が洪水注意報、その他が洪水警報に相当。)	5.6	33.5	39.1	21.7	
<b>4.竜巻注意情報</b> (竜巻などによる激しい突風が発生しやすい気象状況になったと判断された場合に気象庁が発表する情報)	7.4	43.4	38.4	10.8	
<b>5.特別警報</b> (これまでの警報の発表基準をはるかに超える大雨、暴風、大雪、地震、津波、高潮などで重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に気象庁が発表する情報)	7.8	31.7	41.8	18.7	
<b>6.警戒宣言</b> (「東海地震」に関して、地震の前兆が確認[地震が予知された]場合に、内閣総理大臣から発せられる宣言。)	3.7	17.1	41.5	37.7	25.3
<b>7.海上警報</b> (船舶に対して気象庁が発表する海上の気象などに関する警報)	2.8	13.3	36.3	47.7	
<b>8.噴火警戒レベル</b> (火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階で発表する指標。レベル2以上が「噴火(火口周辺)警報」、レベル4以上が「噴火警報(居住地域)・特別警報」に該当。)	3.3	20.5	41.2	34.9	
<b>9.降灰予報</b> (噴煙の高さが3,000m以上あるいは噴火警戒レベルが3相当以上の噴火など、一定規模以上の噴火が発生した場合に、噴火発生から概ね6時間先までに火山灰が降ると予想される地域を発表する情報。)	1.8	13.2	35.0	50.0	
<b>10.避難(勧告)準備情報</b> (高齢者や乳幼児など自分の力での避難が難しい・時間がかかる人[災害時要援護者・災害弱者]やその家族などに避難を呼びかけ、その他の人々には避難の準備を促す情報)	4.6	21.9	38.6	34.9	
<b>11.長周期地震動</b> (周期が数秒以上のゆっくりとした長い揺れ。例えば、地表では震度3~4程度でも、高層ビルの高層階では人が立っていられなかったり、棚などが転倒・移動するような揺れになる。)	4.2	17.0	31.8	47.1	
<b>12.ハザードマップ</b> (災害の範囲や被害の大きさなどを予測し、それを示した地図。)	14.5	34.4	36.3	14.8	
<b>13.緊急警報放送</b> (津波警報などが発表された際、テレビ・ラジオ[その機能がある受信機]のスイッチを自動的に入れる信号[ピロピロピロ・・・という音]を発して行う放送。)	8.7	24.7	34.2	32.4	39.1
<b>14.正常化の偏見</b> (避難が促されたり危険が迫っていても「たいしたことにはならない」「自分は大丈夫」と楽観視したり危険を認めない信念)	3.3	12.1	24.0	60.5	82.8



(2007年) 他の認知度	知らない
計画高水位	55.9
東海地震観測情報・注意情報・予知情報	33.6
緊急火山情報	38.4
臨時火山情報	45.2
溢水	75.3

(%)



# 日頃の情報源（M.A.）〔％〕

	2014	2007
NHKテレビ	45.1	44.9
NHKラジオ	5.1	5.0
民間放送テレビ	62.0	71.8
民間放送ラジオ（AM）	7.4	8.6
FM（コミュニティFM放送を除く）	10.5	13.6
コミュニティFM放送	1.5	1.8
ケーブルテレビの自主放送	2.4	2.0
CS放送（スカパーなど）	5.2	2.9
新聞	21.7	40.1
WEB（ホームページ）	72.7	77.2
雑誌	16.1	13.8
自治体の広報紙・チラシ	9.4	8.7
フリーペーパー	10.1	13.0
ツイッター	31.4	
フェイスブック	22.8	
LINE	23.2	
掲示板（職場・学校・駅など）	7.0	4.0
その他	0.5	1.3

# ラジオへの 接触度（％）

		よく聴く	時々聴く	あまり聴かない	ほとんど聴かない	まったく聴かない	物心がついてから、これまで一度もラジオを聴いた記憶がない	わからない	その他
全体		7.5	15.9	9.9	26.7	35.1	1.5	3.0	0.4
性別	男性	9.7	20.8	11.1	24.2	28.5	1.7	3.7	0.3
	女性	5.3	11.0	8.7	29.2	41.7	1.3	2.3	0.5
年代	18-24歳	4.3	14.0	9.1	27.2	38.7	3.2	3.0	0.5
	25-29歳	7.9	14.3	9.4	29.3	33.9	0.8	4.3	0.0
	30-35歳	10.0	19.0	10.9	23.8	33.1	0.7	1.9	0.7
地域	札幌市	13.0	16.0	10.0	24.0	32.0	2.0	2.0	1.0
	仙台市	6.0	19.0	8.0	29.0	36.0	2.0	0.0	0.0
	さいたま市	6.0	16.0	11.0	27.0	34.0	1.0	4.0	1.0
	東京都23区	10.0	18.0	10.0	26.0	33.0	2.0	1.0	0.0
	横浜市	8.0	11.0	11.0	30.0	36.0	1.0	3.0	0.0
	静岡市	5.2	13.5	10.4	26.0	37.5	1.0	5.2	1.0
	名古屋市	10.0	16.0	9.0	29.0	32.0	1.0	2.0	1.0
	京都市	4.0	16.0	10.0	23.0	43.0	2.0	2.0	0.0
	大阪市	3.0	9.0	8.0	38.0	34.0	5.0	3.0	0.0
	神戸市	8.0	21.0	11.0	17.0	41.0	0.0	2.0	0.0
	広島市	10.0	15.0	12.0	27.0	27.0	1.0	7.0	1.0
	福岡市	7.0	20.0	8.0	24.0	36.0	0.0	5.0	0.0
一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	7.4	13.8	9.1	25.8	40.6	0.7	2.3	0.3
	実家暮らし	7.7	18.0	10.7	27.5	29.7	2.3	3.7	0.5

# ラジオを聞かない理由（M.A.）（％）

		ラジオを聴く必要がないから	わからないから・興味を感じないから	ラジオが面白くはないから	魅力を感じないから	良い番組・聞きたい番組がないから	番組の情報が他にないから	ラジオが嫌いだから	音だけで映像がないから	ラジオの聴き方がわからないから	ラジオ（受信機）の扱い方がわからないから	段からラジオを聴く手	からラジオを聴いていないから	えにくいから	取りにくい・よく聴き	自宅ではラジオが聴き	その他	なんとなく	特に理由はない	わからない
全体		31.5	15.4	15.1	13.1	19.5	1.0	4.8	2.1	2.3	23.2	5.3	1.5	3.4	16.0	2.2				
性別	男性	31.8	14.1	16.7	14.4	16.9	0.8	5.1	1.0	1.0	17.7	3.8	1.0	3.8	19.5	2.3				
	女性	31.3	16.5	13.8	12.2	21.6	1.2	4.5	2.9	3.3	27.6	6.4	1.9	3.1	13.2	2.1				
年代	18-24歳	33.0	16.5	16.8	13.1	21.3	2.1	4.5	3.4	3.4	29.9	7.2	1.0	2.1	15.5	2.1				
	25-29歳	30.2	13.2	14.2	11.8	18.8	0.3	4.9	2.1	2.1	21.5	2.8	1.7	4.5	13.5	2.4				
	30-35歳	31.4	16.6	14.2	14.5	18.6	0.7	5.1	0.7	1.4	18.2	5.7	1.7	3.7	18.9	2.0				
地域	札幌市	25.0	10.3	10.3	14.7	16.2	0.0	1.5	1.5	1.5	30.9	5.9	2.9	4.4	16.2	4.4				
	仙台市	36.0	12.0	8.0	9.3	18.7	0.0	5.3	1.3	1.3	22.7	2.7	1.3	8.0	18.7	4.0				
	さいたま市	45.2	16.4	19.2	17.8	27.4	1.4	8.2	2.7	4.1	21.9	5.5	2.7	1.4	12.3	1.4				
	東京都23区	23.9	8.5	12.7	9.9	15.5	1.4	4.2	0.0	0.0	15.5	4.2	0.0	4.2	28.2	4.2				
	横浜市	29.5	15.4	21.8	15.4	24.4	0.0	3.8	1.3	0.0	17.9	6.4	1.3	3.8	19.2	2.6				
	静岡市	26.4	16.7	9.7	11.1	22.2	1.4	4.2	5.6	5.6	30.6	5.6	1.4	1.4	6.9	0.0				
	名古屋市	25.4	14.1	19.7	14.1	15.5	0.0	8.5	1.4	2.8	22.5	5.6	0.0	2.8	18.3	0.0				
	京都市	38.5	21.8	16.7	11.5	24.4	1.3	6.4	1.3	2.6	14.1	6.4	2.6	1.3	15.4	1.3				
	大阪市	23.5	20.0	11.8	16.5	12.9	1.2	2.4	1.2	1.2	22.4	3.5	0.0	4.7	20.0	2.4				
	神戸市	31.9	10.1	15.9	8.7	18.8	1.4	4.3	1.4	4.3	29.0	7.2	1.4	2.9	13.0	2.9				
	広島市	37.3	17.9	16.4	14.9	17.9	3.0	4.5	3.0	4.5	31.3	4.5	3.0	3.0	13.4	3.0				
	福岡市	36.8	20.6	19.1	13.2	20.6	1.5	4.4	4.4	0.0	22.1	5.9	1.5	2.9	8.8	0.0				
	一人暮らし／実家暮らし	一人暮らし	32.6	12.8	14.1	11.7	16.7	0.9	3.1	1.5	2.0	28.2	5.9	0.9	3.3	15.6	2.0			
実家暮らし		30.4	18.3	16.2	14.7	22.6	1.2	6.7	2.6	2.6	17.8	4.5	2.1	3.6	16.4	2.4				

# 考察と課題（1）

- 一人暮らしの若者の災害対策は、「東日本大震災」以前と同じく、優先順位が低いと考えられる。
- 特に一人暮らしの若者に対しては、地域だけでなく学校・企業等での災害対策の推進・指導が必要。
- 世代（文化）を考慮した災害対策の検討が必要。

# 考察と課題（2）

- 災害情報の入手方法等についても、常に検討が必要。
- ラジオについて言えば、単に「ラジオを用意する」だけでなく、「用意しているラジオを聴く（例えば、防災の日などに10分間でも聴く）」というような対応も必要。